



平成23(11)年

9月9日(金)発行

後援会だより

【『木内ひとし後援会』会報】

☆発行責任者：『満月会（木内ひとし後援会）』事務局

〒385-0051 長野県佐久市中込 2969-1 1F Tel&Fax 0267-63-2005

E-mail : mangetsu@valley.ne.jp

http://kiuchi.mdd.jp/

自由民主党長野県第二選挙区支部長に就任!

三月十一日(金)、十二日(土)に発生しました東日本大震災、ならびに長野県北部地震で被災し、今日まで不自由な生活を送られております皆様方に衷心よりお見舞い申し上げます。また、一刻も早い復旧・復興を願っています。
(*自民党佐久市支部が窓口となりました被災地支援の募金、ならびに救援物資支援につきましては、多くの皆様にご協力をいただき、ありがとうございます!)

さて、本年四月いっぱいを持ちまして二期八年間務めました長野県議会議員を勇退しました。この間、皆様にはお支えをいただきまして、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。また、後継候補の桃井進氏に対し、力強い応援をいただき、初当選を飾らせていただきましたこと、深く感謝いたします。

ところで、五月からは新たに自由民主党長野県第三選挙区支部を立ち上げ、支部長(次期総選挙への立候補予定者)として活動をいたしております。早いもので四ヶ月ほど経過いたしましたが、日々激動する国政に左右されながら、また、千曲市から南佐久郡まで大きく広がった

選挙区に戸惑いながら支部長としての活動、さらには後援会会員拡大のための活動に励んでおります。今回、この会報と一緒にリーフレットを同封いたしましたので、ご覧いただき、同志の輪を広げていただきますよう改めてお願いいたします。

『常在戦場』、いつ総選挙が実施されても良いように地道に準備を進めてまいりますので、皆様におかれましては、これからも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



安倍晋三・元内閣総理大臣から
激励を受ける木内均支部長

[7/25(月)佐久市にて]

民主党 野田内閣発足に当たっての所感

九月二日(金)、民主党新代表の野田佳彦代議士を首班とする新内閣が発足しました。野田新総理は、松下政経塾出身者(第一期生)として初の総理大臣となりました。後輩(私は第九期生)としては、松下幸之助翁が日本の将来を憂えて設立した政経塾の原点や思いを国政の最高責任者として実現していただくよう先輩の活躍にエールを送ります。

さて、野田新政権にとりましては、政権交代3年目に突入して早3人目の総理、さらに震災の復旧・復興や税と社会保障の問題、財政再建、日米外交(特に沖縄県の米軍普天間基地移転問題)等々、喫緊の課題が山積しています。これらの課題を民主党内をまとめ上げ、自民党をはじめとする野党と協議、協調しながら一刻も早く解決していく使命があります。

我が党も政権党のあげ足をとるだけではなく、協力すべきはしっかりと協力し、来る

べき総選挙は、『ダメ比べ(「自民党がダメだから民主」、「今度は民主党がダメだから自民」)の総選挙』にならないようしっかりと責任を果たしていくことが重要であると肝に銘じていきます!!



私と妻・朋華(右)の結婚披露宴に出席していただいた野田佳彦内閣総理大臣(中央 *当時は財務副大臣) なお左は朋華の妹

[H22. 3/22 (月) 東京にて]

◆ 編集後記 ◆
事務局の中澤隆弘(なかざわ・たかひろ)です。木内ひとし事務所に勤務してもうすぐ一年になるうとしています。本年5月に自民党第三選挙区支部が正式に立ち上げられてからは事務局長を仰せつかり、後援会の業務も兼務しています。

私は、木内支部長とは、中学校の同級生で、平成5年の佐久市議会議員選挙以来、長野県議会議員選挙と選挙のたびに5度も駆り出され(?!)、選挙実践に携わってきました。今春の桃井進候補の事務所では、事務局長を務めました。

私自身は、二級建築士の資格を持つ(さらに大型免許もあり、バスやトラックの運転も出来ます)異色の農家なのですが、親友の一大事ということで政治活動を手伝っています。至らぬ点が多々ございますので、木内支部長同様、皆様からの叱咤激励、ご指導をお願いいたします。

中澤